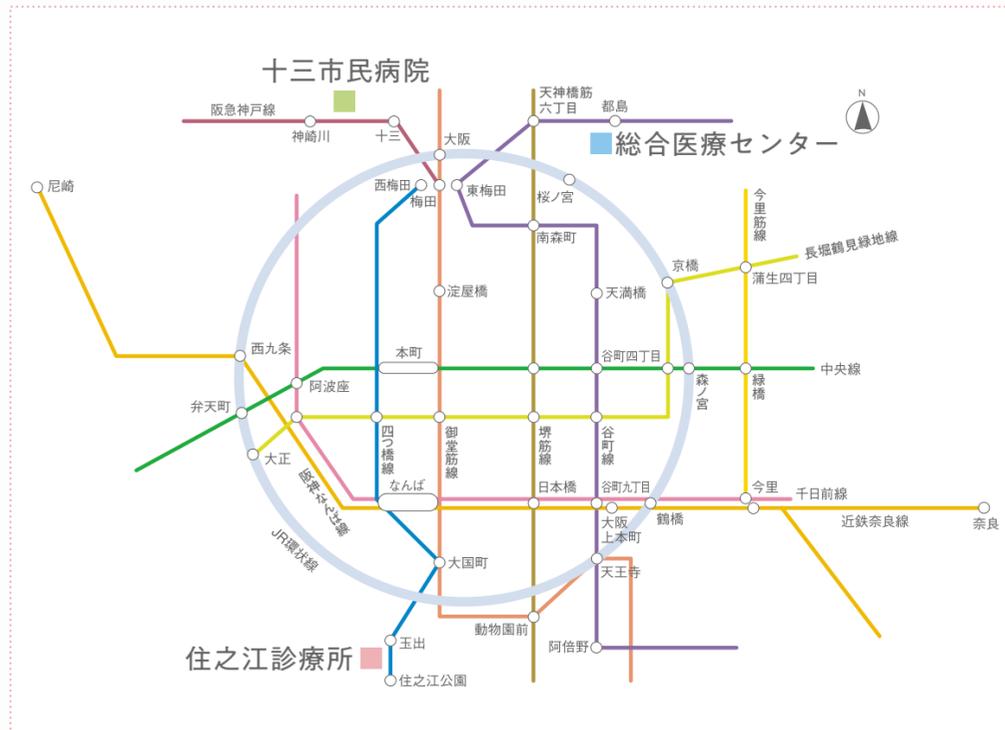


ACCESS GUIDE

[アクセスガイド]



十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL.06-6150-8000

● 阪急神戸線「神崎川」駅から南東へ徒歩約8分

Instagram



総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-1221

● 大阪メトロ谷町線「都島」駅2番出口から西へ徒歩約3分
● JR大阪環状線「桜ノ宮」駅東出口から北へ徒歩約7分

Instagram



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-3687 FAX.06-6929-7099
<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/>



RECRUIT BOOK

NURSING

看護職員 募集案内



OSAKA CITY HOSPITAL



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

| 大阪市立 総合医療センター | 大阪市立 十三市民病院 | 大阪市立 住之江診療所 |

Create Future Healthcare

笑いの大阪から未来の日本の医療をリードする

患者さん、
そしてすべての人に
寄り添う存在でありたい。

私たちは
患者さん一人ひとりに寄り添い
安心して治療を受けていただける
看護師や助産師をめざしています。
患者さんにとっても、
ともに働く仲間にとっても
温かな存在でありたい。
同じ目標を持つすべての職員と
協力しながら、
日々起こるさまざまな課題に
取り組んでいます。

OSAKA
CITY
HOSPITAL 3
POINT

01

人々の安心を守る 最後の砦(セーフティネット)

大阪市の中核病院として、
総合的かつ良質な高度専門医療を提供。
人々の健康と生命を守る“最後の砦”として
市民の信頼に応えます。



02

地域がん診療連携拠点病院 小児がん拠点病院

「地域がん診療連携拠点病院」と
「小児がん拠点病院」の指定を受け、
幅広い年齢層に対して専門的で質の高い
がん医療を提供しています。



03

看護職員のキャリアアップを 多方面からサポート

新人研修やレベル別の能力開発、
専門性の高い看護職員への
キャリアアップなど、
多方面から支援する仕組みを
整えています。



大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、人間味あふれる温かな医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心して信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます

大阪市民病院機構の「3C」



CHALLENGE

常に問題意識を持ち変化をおそれずに
目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION

病院で働くすべての職員と協力し課題解決にあたる人

CREATIVE

既存の方法・慣習にとらわれることなく
自由な発想で仕事ができる人

大阪市民病院機構が求める人物像



市民の想いに応える安心で温かな看護を目指して

総合医療センターは高度急性期で専門性の高い医療を提供しています。
看護職員は安全で安心な看護を提供するために、専門的な知識・技術を磨き続けています。また患者さんやご家族に寄り添い、患者さんの尊厳を守る倫理的感性を持った人間性豊かな看護職員として日々研鑽しています。大阪市の中核病院として地域医療機関と連携しながら、市民の皆様の健康と生命を守り、安心で温かな看護実践を目指し、共に挑戦し共に成長する仲間としてお迎えできることを楽しみにしています。

大阪市立総合医療センター
副院長兼看護部長 田中雅重さん

EDUCATION OF NURSING 大阪市民病院機構の教育

与えられるのではなく、自ら学ぶ。看護職員を成長に導く仕組み。
 病院を成り立たせているのは「人」。だからこそ私たちは人材育成を重視しています。
 段階的に知識と技術を習得し、「主体的な教育」を実践するための仕組み作りを進めています。



新人研修 POINT 3

1 | 充実の教育計画

基本的に毎月1回程度の集合研修を計画しています。講義だけでなく、演習やシミュレーションを取り入れた研修も数多く実施しています。

2 | 安心の指導体制

部署での指導体制はプリセプター制度を取っています。また、新人育成担当者がアドバイザーとしてフォローしながら、部署全体で指導を行います。

3 | 継続したサポート

新人看護職員が同期と悩みを共有し、リフレッシュできるよう「フォローアップ研修」を年3回実施し、2年目でも継続したフォローアップを実施しています。

PICK UP! 新人看護職員研修

専門・認定看護師、先輩看護師による手厚い研修。

看護職員としての第一歩を踏み出した新人の皆さんが、自信を持って業務に取り組めるよう、充実した研修体制を整えています。

基本的な看護技術研修は新人育成担当者が担当し、専門的知識や技術研修はスペシャリストが担当し、部署と連携しながら研修を行っています。

新たな一歩を支える！フォローアップ研修

新人看護職員に好評なのが定期的に実施される「フォローアップ研修」です。新人看護職員の悩みや思いを共有する時間が設けられ、リアリティショックの軽減に努めています。



●集合研修



●看護技術演習

▶▶▶ 1年間の研修の流れ ▶▶▶

新人には名札にたまごシール

4月	○新採用者合同研修 ○新採用オリエンテーション ○看護技術、記録	○静脈注射(講義・演習) ○電子カルテ研修など ○フィジカルアセスメントI	○病棟シャドウイング ○褥瘡管理I ○感染管理I
5月	○フォローアップ研修①		
6月	○急変時の看護①(講義)	○看護倫理I-①	
7月	○フォローアップ研修②	○急変時の看護②(BLS)	
8月	○多重課題(メンバーシップ)		
9月	○急変時の看護③(演習+フォローアップ)		
10月	○フォローアップ研修③	○周術期看護	
11月	○セーフティマネジメント0-1		
12月	○看護過程アセスメント編	○ローテーション研修(※)	
1月	○フィジカルアセスメントII		
2月	○1年目まとめ(ナラティブ)		

※手術室配属の職員は病棟で、病棟に配属の職員は手術室でローテーション研修を行います。

新人看護職員研修の研修領域はP.05を参照 ▶▶▶

INTERVIEW



新人看護師 池島さん

大阪市立総合医療センター すみれ11病棟 所属 入職2年目

丁寧な指導を通して、自信が得られた。

当院は教育体制が充実しており、急性期病院として多くの病床を持つため、様々な症例を経験できる環境です。先輩看護師や医師の丁寧な指導のもと、採血やルート確保などの実践的な演習を重ねることができました。同期との練習や段階的な学習により、自信を持って患者さんと向き合えるようになりました。入院生活や病気に対する不安を抱える患者さんの声に耳を傾け、その心に寄り添いながら、身体面と精神面の両方をケアできる看護師を目指していきたいです。

▷ 1週間の流れ ▷

1日目【月】	日勤(8:30~17:00)
2日目【火】	日勤(8:30~17:00)
3日目【水】	日勤(8:30~17:00)
4日目【木】	休日
5日目【金】	夜勤(16:15~9:15)
6日目【土】	夜勤明け
7日目【日】	休日

▷ 1週間の流れ ▷

1日目【月】	日勤(8:30~17:00)
2日目【火】	日勤(8:30~17:00)
3日目【水】	日勤(8:30~17:00)
4日目【木】	日勤(8:30~17:00)
5日目【金】	日勤(8:30~17:00)
6日目【土】	休日
7日目【日】	休日

患者さんに安心してもらえる看護師を目指して。

教育体制の充実が当院の魅力の一つ。月1回の同期が集まる集合研修では、時期に応じた講義や演習があり、日々の業務にすぐに活かせる実践的な内容が学べます。特に印象的だったのは病棟ローテーション研修。私は手術室配属でしたが、術前・術後の患者さんへのケアを直接学べ、周術期看護の全体像を把握することができました。手術を受ける患者さんの不安に寄り添い、丁寧な情報提供と適切な声のトーン、非言語コミュニケーションを心がけています。「この看護師がいてくれて安心できた」と思っていたいただけるような、信頼される看護師を目指して日々努力しています。



新人看護師 川中さん

大阪市立十三市民病院 手術・中材 所属 入職2年目

[教育体制]

キャリア開発ラダー

大阪市民病院機構のキャリア開発ラダーとは、看護実践能力の段階を示すクリニカルラダーだけでなく、組織の目標をふまえ、組織の支援を受けながら、個人が看護職としてキャリア開発をしていけるように、個人と組織の双方が支援ツールとして活用している仕組みです。キャリア開発ラダーには、専門的な知識・技術としての「看護実践力(看護実践・教育・管理)」に加え、姿勢や態度を行動レベルでとらえて評価し、レーダーチャートによる個人の成長のプロセスを可視化する「社会

レベルごとに必要な能力を開発。



人基礎力」、自己管理や課題を見出す「ポートフォリオ」の3つの要素があります。これらは、個人の目標達成に向けた主体的取り組みを支援するためのツールとなり、組織に貢献できる看護職員の人材育成につながっています。「看護実践能力(看護実践・教育・管理)」において、令和2年度から「看護実践」にはJNAラダーを導入しています。「看護実践」「管理」「教育」の3領域から、ラダーレベル別研修を構成しています。

キャリア開発ラダー レベル別研修一覧

経験年数	入職~2年	3年~5年	6年~8年	9年~	15年~	
キャリア開発ラダーレベル	O-1新人研修(1年目)	O-2新人研修(2年目)	レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV
到達段階	基本的な看護手順に従い指導や助言を受けながら、日常の看護ケアができる	所属の臨床場面において、自立して日常の看護業務ができる	主体的に日常看護業務を遂行し、個性をふまえた看護が展開できる	幅広い視野で予測判断を持ち看護を実践するとともに、部署内の指導・教育に積極的に関わることができる	所属部署の課題や目標を自ら考え、専門職としての役割モデルとなり、看護実践の質を上げることができる	
研修領域	<ul style="list-style-type: none"> [4月集合研修] <ul style="list-style-type: none"> 看護技術 感染管理 フィジカルアセスメントI 看護記録 静脈注射(講義・演習) 褥瘡管理 災害時の対応 輸液・シリンジポンプの取扱い 急変時の看護①(講義) 急変時の看護②(BLS) 急変時の看護③ (演習+フォローアップ) 多職種連携(カンパニオン) 病棟ローテーション 手術室ローテーション フィジカルアセスメントII 1年目まとめ(ナラティブ) ●エンドオブライフ ●糖尿病看護 ●褥瘡管理II ●地域連携・退院支援O-2 	<ul style="list-style-type: none"> ●緩和ケア ●急変キャッチI ●地域連携・退院支援I 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携・退院支援II 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携・退院支援III 		
基礎	<ul style="list-style-type: none"> ●4月集合研修 ●看護技術 ●感染管理 ●フィジカルアセスメントI ●看護記録 ●静脈注射(講義・演習) ●褥瘡管理 ●災害時の対応 ●輸液・シリンジポンプの取扱い ●急変時の看護①(講義) ●急変時の看護②(BLS) ●急変時の看護③ ●(演習+フォローアップ) ●多職種連携(カンパニオン) ●病棟ローテーション ●手術室ローテーション ●フィジカルアセスメントII ●1年目まとめ(ナラティブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●緩和ケア ●急変キャッチI ●地域連携・退院支援I 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携・退院支援II 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携・退院支援III 		
看護実践	<ul style="list-style-type: none"> ●年間計画のもと行う研修 ●[全職員] ●感染管理 ●医療安全 ●臨床倫理 ●臨床研究 ●接遇 ●保険診療 ●個人情報保護 ●ハラスメントなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門領域別学習会 ●部署学習会 ●看護研究教育セミナー ●トピックス研修 				
施設内研修						
専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ●急性期 ●WOC-栄養関連 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症・せん妄ケア ●リエゾン看護 ●人工呼吸器装着中の患者の看護 				
教育・役割別		<ul style="list-style-type: none"> ●NST ●ストーマケア ●摂食・嚥下障害看護 				
医療安全	<ul style="list-style-type: none"> ●セーフティマネジメントO-1 	<ul style="list-style-type: none"> ●セーフティマネジメントI 	<ul style="list-style-type: none"> ●セーフティマネジメントII 	<ul style="list-style-type: none"> ●セーフティマネジメントIII 		
看護管理				<ul style="list-style-type: none"> ●看護管理基礎①② 		
教育・役割別		<ul style="list-style-type: none"> ●リーダーの役割 ●感染管理II 	<ul style="list-style-type: none"> ●リスクマネージャー 			
指導	<ul style="list-style-type: none"> ●フォローアップ ●既卒フォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●2年目フォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●リフレクションI 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファシリテーターI 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファシリテーターII ●リフレクションII 	
看護研究	<ul style="list-style-type: none"> ●看護過程-アセスメント編- 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護過程-論理的思考編- ●看護過程-まとめ方編- ●看護過程-発表会- 		<ul style="list-style-type: none"> ●看護研究-研究のクリティック 		
倫理	<ul style="list-style-type: none"> ●看護倫理I-① 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護倫理I-② 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護倫理I-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護倫理II 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護倫理III 	
教育						
教育・役割別		<ul style="list-style-type: none"> ●看護記録質的監査 ●実習指導者 ●実地指導者(指導者・プリセプター) ●実地指導者フォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育担当者I ●教育担当者II ●リスクマネージャー 			
キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザイン(初期) ●新採用者研修 	<ul style="list-style-type: none"> ●2年目研修 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザイン(中期) 	<ul style="list-style-type: none"> ●新任主務研修 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザイン(後期) 	
自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●スキルアップ 					
施設外研修			<ul style="list-style-type: none"> ●実習指導者講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ●各派遣研修 ●認定看護師養成課程 ●学会認定看護師養成 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファーストレベル 	

●フォローアップ

●急変時の看護③(演習+フォローアップ)

●褥瘡管理I



2年目は名札にひよこシール

INTERVIEW

医師不在時でも、患者さんに十分な医療を提供する。

特定看護師 山城さん

大阪市立十三市民病院 6階病棟 所属



2023年度に看護師特定行為研修を受け、呼吸器関連と栄養に係るカテーテル管理の資格を取得しました。医師が少ない環境で、患者さんへの緊急の医療提供に課題を感じていた私は、上司の後押しもありこの研修に挑戦することを決意しました。特定行為を学んだことで、臨床推論などの医学的視点が加わり、患者さんの状態をより深く理解できるようになりました。治療と看護、両面からのアプローチを通じて

患者さんの治療が円滑に進んだときや、医療チームからの信頼を得られたときに大きなやりがいを感じています。

【ある1日のスケジュール】

- PICC挿入の依頼確認、主治医との情報共有
- PICC実施前に患者訪問
- 状態、体位、疑問点などを確認
- 放射線科や当該病棟との物品や人員、時間調整
- PICC挿入の実施
- PICC挿入後、担当看護師、主治医へ状態報告
- PICC挿入後に患者訪問し状態の確認

がん患者さんへのケアだけでなく、他職種連携にも貢献したい。

緩和ケア認定看護師 中井さん

大阪市立総合医療センター 緩和ケアセンター 所属

がん看護の実践を通じて、術後のリンパ浮腫に対する専門的ケアの重要性を認識し、緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。現在は外来でケアに従事し、患者さんの療養への思いを丁寧に理解しながら、ご家族

や医療介護スタッフと協力して納得のいくACPの実現に努めています。これからも専門的な知識と技術を活かし、患者さんへの直接的なケアはもちろん、他職種連携の推進にも貢献していきたいです。



認定看護師になるまで

がん患者さんの全人的苦痛に対応するため、緩和ケア認定看護師の資格取得を目指しました。認定教育課程の受験や受講への病院からのサポートもあり、無事資格を取得できました。多職種と連携しながら、入院・在宅での療養生活をサポートし、患者さんが納得できる治療選択をサポートしています。

2007年 医療リンパドレナージセラピスト

2023年 緩和ケア認定看護師



INFORMATION

[専門看護師・認定看護師・特定看護師・診療看護師]

※令和5年10月時点

さらに手厚く専門性の高い看護のために。看護師のキャリアアップを支援しています。

さらなる専門知識と技術を身につけ、認定看護師・専門看護師・特定看護師・診療看護師をめざしたい看護師に対しては、院内外の研修や講習会への参加に協力。認定看護師・特定看護師教育課程については、受験や受講にかかる費用を助成するなど、きめ細かなサポートを行っています。

専門看護師の在籍数 合計7名

- がん看護 2名
- 精神看護 2名
- 小児看護 2名
- 急性・重症患者看護 1名

特定行為研修修了者の在籍数 合計21名

診療看護師の在籍数 合計1名

認定看護師の在籍数 合計49名

- 緩和ケア 3名
- がん化学療法看護 3名
- 脳卒中リハビリテーション看護 1名
- がん薬物療法看護 1名
- がん放射線療法看護 1名
- 乳がん看護 1名
- 集中ケア 4名
- 新生児集中ケア 2名
- 救急看護 3名
- 小児救急看護 1名
- クリティカルケア 1名
- 手術看護 2名
- 慢性呼吸器疾患看護 2名
- 認知症看護 1名
- 摂食・嚥下障害看護 2名
- 糖尿病看護 3名
- 皮膚・排泄ケア 6名
- 感染管理 6名
- 精神科認定看護師 1名
- 心不全看護 1名

LIFE SUPPORT

当機構には、看護職員たちが快適に働けるよう整備された制度・取り組みが多数あります。その一例をご紹介します。

出産・育児支援制度

妊娠

妊娠中の職員の通勤緩和休暇

勤務時間の始めまたは終わりにそれぞれ30分以内で特別休暇を取得できます。

産前・産後

産前・産後休暇

産前・産後を通じて合計16週間の特別休暇があり、分娩予定日の8週間前から休むことが可能です。

育児

育児休暇

子が2歳に達するまで、1日2回合わせて120分以内で特別休暇を取得できます。

育児休業／子の看護休暇／短時間勤務(育児休暇)

育児休業

法律では子が1歳に達するまでですが、当機構は子が2歳に達するまで必要な期間取得ができます(保育所に入所できない場合等は、3歳まで延長可)。

子の看護休暇

法律では小学校就学の始期に達するまでですが、当機構は中学校就学の始期に達するまで取得ができます。

短時間勤務(育児休暇)

法律では子が3歳に達するまで1日の勤務時間を短縮することができますが、当機構は中学校就学まで、勤務時間を短縮するための休暇を取得できます。



DATA OF OSAKA CITY HOSPITAL

大阪市民病院機構のデータ

[職員数]

2,686名

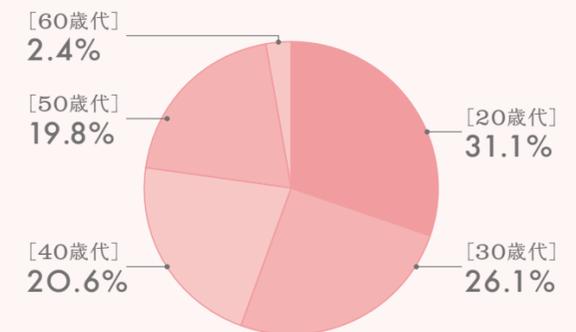
[看護職員数]

1,433名

[医師数]

511名^{※2}

[看護職員の年齢分布]^{※2}



[1日の入院患者数]

785.2名^{※1}

[看護職員の平均勤続年数]^{※2}

11.9年^{※2}

[1日の外来患者数]

1,900.2名^{※1}

[看護職員の定着率]^{※2}

94.5%^{※2}

※1 | 令和5年度 ※2 | 令和6年12月時点

ママさん看護師のコメント



妊娠中の制度が充実していて、復帰後も周囲のサポートがあるので、育児と仕事を両立できています！

池川さん
大阪市民病院機構 総合医療センター さくら7病棟 所属

院内保育所(総合医療センター横)



総合医療センター横に院内保育所を設置。子育て中の職員をサポートします。産後休暇明けの0歳児から6歳未満の乳幼児対象。一般保育(7時30分~20時30分)に加え、一時保育(7時30分~20時30分)等もあり多様な勤務形態に対応。

※年末年始除く(12月29日~1月3日まで)
※院内保育所利用者には自家用車での通勤が認められています。

生活への支援制度

保険取扱

団体取扱契約により、各種の保険について割引が受けられます。

職員食堂

明るく開放された空間で、休憩時間を過ごすことで、リフレッシュすることができます。



HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪府都島区都島本通2丁目13番22号
TEL:06-6929-1221

高度な医療技術を駆使し
46の診療科で市民のニーズに対応。

最新の医療機器と高度な医療技術を駆使して、24時間体制で救命救急医療を提供しています。また、各診療科で専門的医療を行い、特に「がん・心疾患・脳血管疾患」の三大疾患を中心とした高度医療に対応するため、臓器別に診療科が編成されているほか、ハイリスク周産期医療から小児科分野における高度医療、感染症医療にも取り組んでいます。常に市民のニーズに応えられるように、更なる病院機能の向上に努めています。

高度専門的医療の提供

- 救命救急センター(3次救急)
- 小児救命救急センター
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 小児がん拠点病院
- 大阪府災害拠点病院
- 第一種・第二種感染症指定医療機関
- 総合周産期母子医療センター
- エイズ診療中核拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産婦人科診療相互援助システム基幹病院
- 新生児診療相互援助システム基幹病院
- 臨床研修指定病院(基幹型)
- 精神保健福祉法指定医療機関(緊急措置入院)
- 母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設
- がんゲノム医療連携病院
- 大阪府難病診療連携拠点病院



高度な専門性により、数多くの学会からも施設認定を受けています。研修施設・教育施設として次代の医療を担う人材を育成する役割も担っており、多岐にわたる経験ができます。

DATA

看護部理念

1. 患者さん一人ひとりの人権を尊重した看護を実践します
2. 市民に信頼される看護を提供します
3. 優れた看護職員を育成します

看護部基本方針

1. 個人の尊厳を守り、患者さん自身が治療に参加できるよう支援します
2. 専門職として、安全・安心な看護を提供します
3. 専門的な知識・技術を持ち、豊かな人間性を有する看護職員を育成します
4. 多職種と協働しながら、チームの一員としての役割と責任を果たします
5. 職員が生き生きと働き続けられる職場環境を作ります
6. 地域医療機関と連携し、継続看護を推進します
7. 教育活動を通じて、地域の看護の質の向上に貢献します
8. 健全な病院経営や運営に参画します

●大阪市立総合医療センター 3Hの理念

Heart For Public Service	広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。
Humane	人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。
High Technology	高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

●病床数:1,063床 ●診療科目:総合診療内科/糖尿病・内分泌内科/腎臓・高血圧内科/精神神経科/脳神経内科/皮膚科/循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/感染症内科/腫瘍内科/血液内科/緩和ケア内科/整形外科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんごう科/頭頸部外科/婦人科/形成外科/口腔外科/脳神経外科/心臓血管外科/呼吸器外科/消化器外科/乳腺外科/産科/新生児科/小児代謝内分泌・腎臓内科/小児脳神経・言語療法内科/小児循環器・不整脈内科/小児血液・腫瘍内科/児童青年精神科/小児外科/小児整形外科/小児泌尿器科/小児眼科/小児耳鼻いんごう科/小児形成外科/小児脳神経外科/小児心臓血管外科/小児救急・感染症内科/麻酔科/放射線診断科/放射線治療科/病理診断科/リハビリテーション科 ●看護方式:固定チームナースング ●看護体制:一般病棟 7対1

さくら18病棟	18F	すみれ18病棟
さくら17病棟	17F	すみれ17病棟
さくら16病棟	16F	すみれ16病棟
さくら15病棟	15F	すみれ15病棟
さくら14病棟	14F	すみれ14病棟
さくら13病棟	13F	すみれ13病棟
さくら12病棟	12F	腎移植・透析部 外来化学療法室
さくら11病棟	11F	すみれ11病棟
さくら10病棟	10F	すみれ10病棟
さくら9病棟	9F	すみれ9病棟
さくら8病棟	8F	すみれ8病棟
さくら7病棟	7F	すみれ7病棟
さくら6病棟	6F	すみれ6病棟

5F	患者図書室、わくわくひろば、コンビニエンスストア、美容室、庭園	
4F	救命救急センター、集中治療センター	さくらホール
3F	手術センター、検体検査部門	
2F	画像診断部門、外来診療部門	
1F	外来診療部門、救命救急センター受付、ER・外傷センター、リハビリテーション部、カフェレストラン	駐車場連絡通路
MB	設備スペース	
B1	核医学・放射線治療部門、物品管理供給部門、栄養部門	



大阪市立十三市民病院

〒532-0034 大阪府淀川区野中北2丁目12番27号
TEL:06-6150-8000

20の診療科を有する地域密着型の急性期病院。

市民病院として地域の皆さまに寄り添い、信頼していただける医療の提供をめざしています。地域の医療機関からの紹介や二次救急の受け入れなど、高度な医療技術を必要とする検査や手術を提供するとともに、開業医などと連携した全人的医療への貢献を果たしています。診療科間の垣根も低くアットホームな雰囲気も特色です。また内視鏡センターでの苦痛のない検査・治療を推進するなど患者さんから高い評価を得ています。地域住民のニーズに応えられるように常に病院機能の向上に努めています。

施設認定など

- 日本医療機能評価機構認定病院
- 救急告示病院(第2次救急医療機関)
- 大阪府がん診療拠点病院
- 市町村災害医療センター
- 新生児診療相互援助システム協力病院
- 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)
- 臨床研修指定病院(協力型)

DATA

看護部理念

1. 患者さんの人権を尊重し、QOLの向上をめざした看護を実践します
2. 患者さんの立場に立ち、優しさと思いやりをもって看護します
3. 専門職としての誇りと自覚を持ち、主体的に看護を実践します
4. 地域のニーズに合わせた、継続看護の充実をめざします

看護部基本方針

1. 看護の質の向上をめざした看護を実践します
2. 患者さんの安全を保障した看護を実践します
3. 専門職業人としても資質の向上を図ります
4. 経営に参画します
5. 働きやすい職場環境づくりを行います

●大阪市立十三市民病院 基本理念

市民に信頼され、地域に貢献する病院をめざします。
人間味あふれる温かな医療を実践する患者中心の病院をめざします。
将来にわたり、市民の医療ニーズに応える病院をめざします。

●病床数:263床 ●診療科目:総合診療内科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/呼吸器内科/感染症内科/小児科/消化器内科/緩和ケア内科/外科/消化器外科/整形外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻いんごう科/麻酔科/放射線科/病理診断科/リハビリテーション科 ●看護方式:固定チームナースング ●看護体制:一般病棟 7対1

9F	すかいルーム・ヘリポート
8F	病棟(結核、感染症)
7F	病棟(緩和ケア)
6F	病棟(循環器内科、外科、消化器外科、整形外科)、HCU
5F	病棟(総合診療内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、眼科、泌尿器科、耳鼻いんごう科、緩和ケア内科)
4F	病棟(新生児未熟児室、産婦人科、小児科)
3F	手術室、中央材料室
2F	外来診療室、中央臨床検査部
1F	総合案内、外来診療室、リハビリ、放射線科、薬剤部、ケモ室
B1	内視鏡センター、栄養部、機械室

INTERVIEW

十三市民病院 看護部長 樋口 尚子さん

患者さんだけでなく、職員にも思いやりを届ける。

当院は地域密着型の中規模の急性期病院で、職員全員の顔が見えるアットホームな病院です。これまで培ってきた感染症医療を強みに、大阪府がん診療拠点病院としてがん看護・緩和ケア、また赤ちゃんとママにやさしい病院として分娩の受け入れにも力を入れています。地域の訪問看護師とのカンファレンスや退院前後訪問も行い、退院支援や看護外来の充実を図っています。看護部は患者さんだけでなく、職員にも思いやりを届け、スタッフ一丸となって地域の皆さまに信頼される病院をめざしています。私たちと共にやさしさと思いやりを持って十三市民病院で看護実践しましょう。

